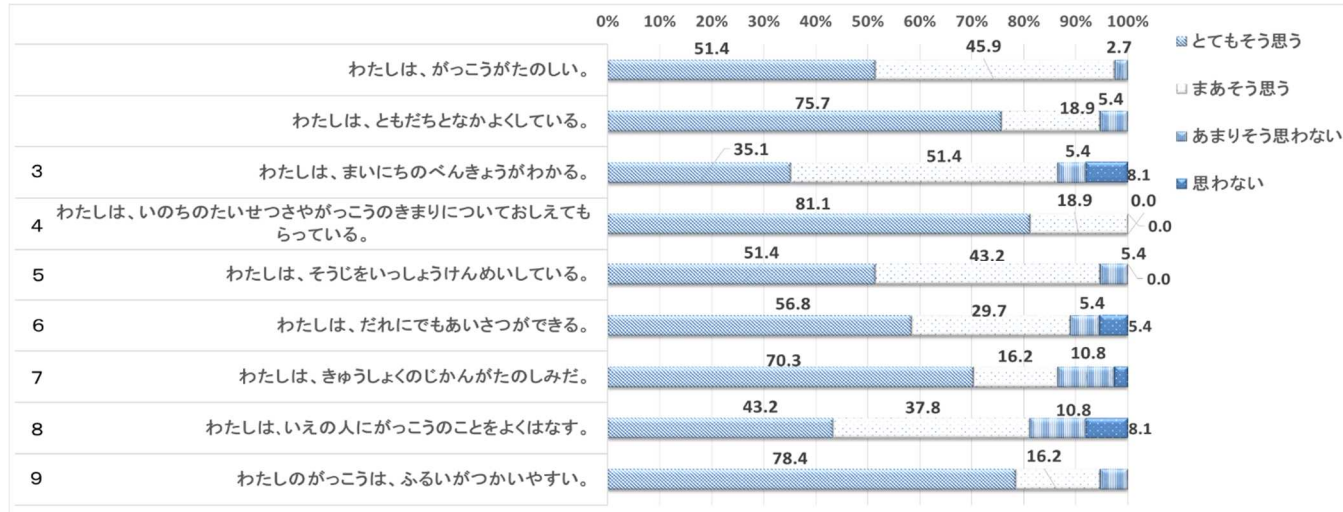
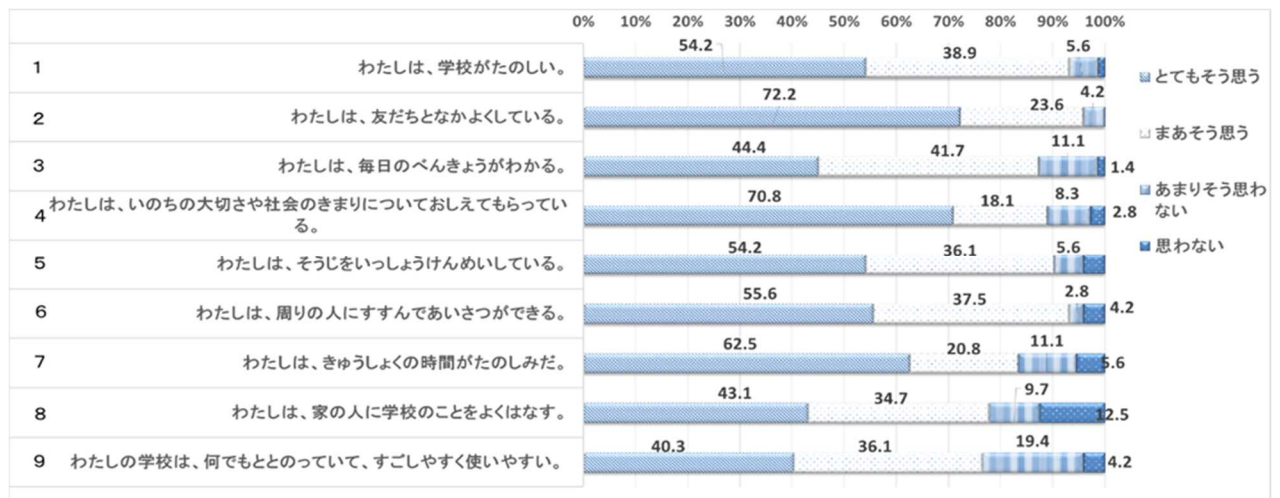


平成30年度 アンケート結果について

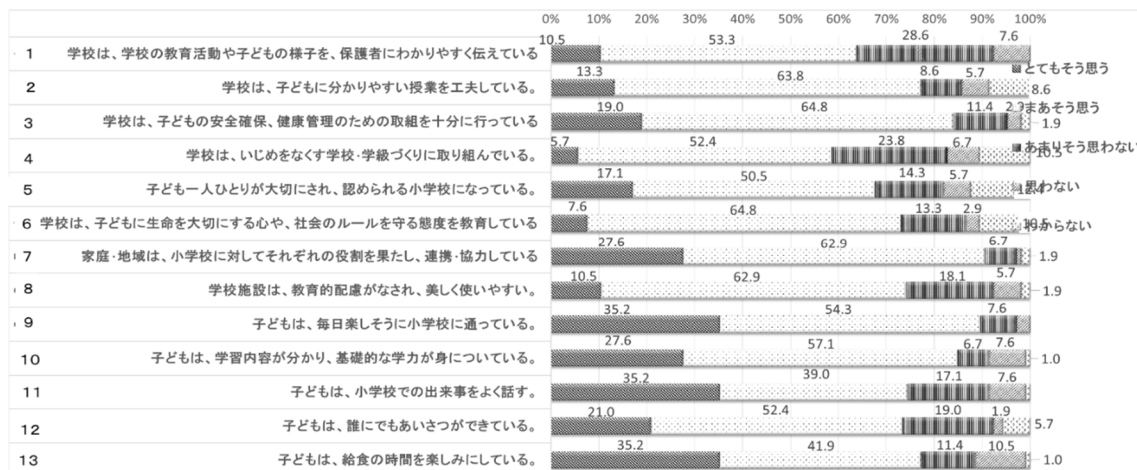
児童アンケート（低学年）



児童アンケート（中高学年）



保護者アンケート



#### 児童アンケートについて

「学校が楽しい」と肯定的に回答した児童が、低学年97.3%、中高学年が93.1%であった。中高学年になると若干下がるものの、概ね、児童は学校生活が楽しいと感じている。

「友達と仲良くしている」の項目で、低学年75.7%、高学年72.2%がとてもそう思うと回答していることや、「毎日の勉強がわかる」と肯定的に回答している児童が、低学年で86.5%、中高学年で86.1%であることから、友達と仲良くできて、わかる授業を受けることにより、児童は、学校生活が楽しいと感じているようである。

中高学年、低学年とも掃除を一生懸命していると回答した児童は90%以上で、積極的に学校をきれいにしようと取り組むことが、学校施設に愛着を感じ、「学校施設が美しく使いやすい」という項目においても肯定的答える児童が多かった。また、今年度から、空調設備が整い、夏は冷房、冬は暖房の中、快適に学習できていることも、施設の項目が肯定的に回答する児童が多かったことにつながったと考えられる。

#### 保護者のアンケートについて

子どものアンケートで、「学校が楽しい」と答えた児童が多かったが、それに伴い、保護者のアンケートでも、「子どもは、毎日楽しそうに学校へ通っている。」の項目が89.5%、肯定的に回答されている。

「子どもは、学習内容がわかり、基礎的な学力が身についている。」が、84.7%で、わかる授業の実践が、「子どもが楽しそうに学校へ通っている。」の項目で、肯定的な回答を得たことにつながっている。

「学校は、いじめをなくす学校・学級づくりに取り組んでいる。」の項目で58.1%、肯定的回答であるが、他の項目に比べて低い数値となっている。いじめにおいては、教職員は、子供たちの様子をしっかりと注視し、アンケートも取りながら対応しているところであるが、道徳教育や人権教育を充実させながら、より一層取り組んでいく必要がある。